放射線部

部長　長縄 慎二（教授）

安全で高度な画像診断検査と放射線治療

最新の医療機器とチーム医療によって、安全かつ高度な画像検査や放射線治療を行っています。

診療体制

部長（教授）１名、副部長（准教授）１名、助教１名、病院助教２名、、医員６名、診療放射線技師57名、看護師20名、事務４名から構成されています。これに、放射線科医師が加わり、診療各科の医師や看護師たちと協力して放射線診療業務に従事しています。

診療内容

一般X線撮影・血管造影・消化管造影・CT・MRIなどの画像診断検査、シンチグラフィ・SPECT・PETなどの核医学検査、直線加速装置・密封小線源等を用いた放射線治療を行っています。

特色

３テスラMRI、SPECT/CTなど、画像診断、核医学、放射線治療の各部門において、最新の医療機器を導入しています。

診療実績

一般X線撮影（単純）119,442件、一般X線撮影(造影)6,226件、血管造影2,417件、CT 42,097件、MRI 18,299件、核医学検査5,599件、乳腺・甲状腺超音波検査3,985件、骨塩定量1,049件、放射線治療16,545件（2011年度）。

先進医療・研究

高磁場MRIの臨床撮像、高精度放射線治療、新規核医学診断法などの先端医療の開発に取り組み、国内外の学会や論文において研究発表を行っています。

材料部

部長　石黒 直樹（教授）

より安全でより安心な医療器材の提供と管理

安全で安心な医療環境を提供するために、院内で使用される医療器材を管理することが役割です。

業務体制

病院における、医療機器および医療用消耗品の購入、滅菌や搬送等の管理業務の一元化、購入後の管理体制の不備や機種選定に係る不透明性等の排除、医療機器および医療用消耗品の適正な管理並びに効率的な設備投資を目指し、平成22年4月に体制の見直しを行いました。材料部の組織体制は「滅菌機器等管理」「内視鏡管理」「医療用消耗品管理」「SPD 管理」「医療機器・材料管理（MDI 活動）」から成っています。

業務内容

①各種の医療機器および医療器具の洗浄、組立ておよび滅菌を行う中央材料室並びに内視鏡の洗浄、滅菌および管理を行う内視鏡洗浄室の監督を行い、病院における滅菌した機器等に係る管理を最適化するために必要な助言・指導を行っています。

②各種の医療機器および医療用消耗品を購入する場合に公正な購入および適正な使用を行うため、材料委員会を開催し審議しています。

③耐久性のある医療機器を購入する場合に、病院内の関係各部間との調整や有効利用を審議するため材料部運営会議にて付議を行い、またそのことについて材料部としての意見を経営会議に付議を行っています。

④ＳＰＤ（Supply Processing＆Distribution）を運営管理し、病院内におけるすべての医療用消耗品および医薬品の購買、供給、搬送、消費、ロット番号等を一元管理しています。

⑤ＭＤＩ（Medical Device Information）活動を通じて病院内で使用されるすべての医療機器情報を収集し、当該情報を病院内の関係各部に周知徹底するとともに、必要に応じて当該関係各部に当該情報への対応を依頼し、その対応状況について報告を受けるなど、医療機器に関する情報収集や広報を行っています。

⑥業務を円滑に運用するために、材料部運営会議、材料委員会以外に、内視鏡管理運営会議、滅菌機器等運営会議、SPD 運営会議が行われています。

以上の取り組みにより、医療の質と安全性の向上、安定的な病院経営基盤の実現を計ることを材料部の目的としています。